

# 大麦特報 第1号

令和4年9月  
富山農林振興センター  
富山市農業協同組合

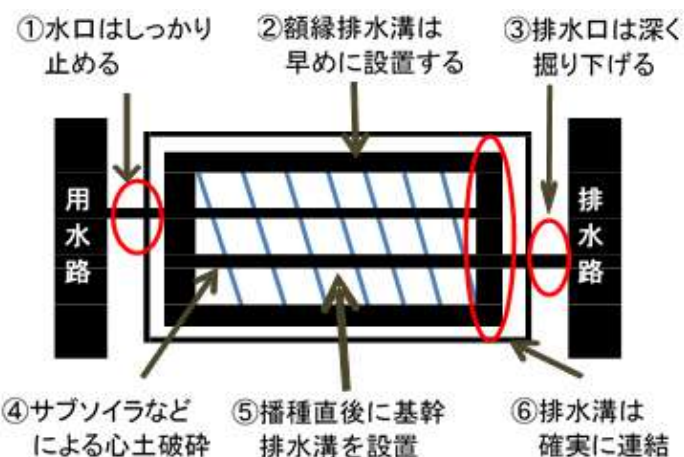
早めの排水対策、土づくり及び10月上旬の適期播種等の基本技術を徹底し、高収量・高品質な大麦を生産しましょう！

## 1 排水対策の徹底

…稲刈後、速やかに額縁排水溝を設置！

- ・稲刈後、幅30cm、深さ20cm以上の額縁排水溝を設置し、確実に排水口へ連結しましょう。また、水口はしっかり止めましょう。
- ・砕土率を上げるために、耕起・播種の前までに十分にほ場を乾かしましょう。

大麦は湿害に弱く、停滞水により根域が制限されると生育不良となるため、播種前からの排水対策が重要です！



## 2 土づくり・基肥

…大麦はpH6.0～6.5が最適

- ・大麦の生育はpHが低いほ場で大きく抑制されるため、耕起前にマグフミン（粒）を10a当たり100kg以上施用し、pH6.0～6.5を確保しましょう。
- ・堆肥等の有機物（発酵けいふん：10a当たり100kg）も積極的に施用しましょう。
- ・基肥は、Jコート大麦48号で10a当たり45kg程度を基本に、地力に応じて施用しましょう。

## 3 適正な播種

…播種は9月末～10月上旬を中心に行い、遅れないようにしましょう！

### ○種子消毒

- ・雲形病等の発生を防ぐため、種子消毒は必ず実施しましょう。

### 【種子消毒の方法】

「ベンレートT水和剤20」を乾燥種子重量の0.5%湿粉衣（乾燥種子10kg当たり200mlの水を加え、薬剤50gを均一に混ぜる）

### ○播種作業

- ・播種は、必ずほ場が乾いた状態で行い、耕起・播種・作溝の一連の作業は、1日で完了させましょう。
- ・トラクターの速度は低速にし、できるだけ細かく砕土しましょう。
- ・出芽・苗立ちを揃えるため、播種深度3cm程度とし、確実に覆土しましょう。
- ・除草剤を的確に使用し、生育量を確保しましょう（表1）。

表1 雑草防除（ドリル播き限定）

	除草剤名	10a 当たり使用量	使用時期	適用雑草
一般的なほ場	トレファノサイド粒剤2.5	4～5kg	播種後出芽前（雑草発生前）	1年生雑草（ツクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）
	トレファノサイド乳剤	200～300ml (希釈水量100ℓ)	播種後出芽前（雑草発生前）	
	バンバン細粒剤F	3～5kg	播種後出芽前～出芽揃期（雑草発生前）	
カラスノエンドウが多いほ場	リベレーターG	4～5kg	播種後～麦2葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)	1年生雑草
	リベレーターフロアブル	60～80ml (希釈水量100ℓ)	播種後～麦3葉期 (雑草発生前～イネ科雑草1葉期まで)	

※多量の降雨が予想される場合は、薬害の恐れがあるため散布を控えましょう。

### ○播種量の目安

- ・播種時期に応じた播種量で目標苗立数を確保しましょう（表2）。

表2 目標苗立数と播種量の目安

播種時期	目標苗立数 (本/㎡)	10a 当たり播種量
		ドリル播き
9月25～30日	140	6.0kg
10月上旬	150	6.5kg
10月中旬	200	8.5kg

※播種が遅くなる場合は、播種量を増やしましょう。

### ○播種後の排水対策

- ・3～4mに1本の割合で、幅30cm、深さ20cm以上の基幹排水溝を設置しましょう。
- ・基幹排水溝と額縁排水溝は雨水が流れるように確実に連結しましょう。

＜秋の農作業安全運動（8月20日～10月20日）実施中＞